

館 報

おみ

8月号
No.701

2025. 8.25 (令和7年) 編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲関係者勢ぞろい ～麻績神明宮祇園祭～ (7月27日撮影) 関連記事は5面

令和七年度 二十歳の集い



▲令和七年度 二十歳の集いに出席された皆さん

二十歳を 迎えた皆さん

飯森 永将 (丸山)
伊藤 真椰 (明治町)
伊藤 梨紗 (明治町)
刈間 拓己 (坊平)
坂野さくら (天王)
佐藤 夏姫 (明治町)
高澤妃菜乃 (丸山)
高野 優琉 (高)
滝澤 悠里 (下井堀)
塚原 康喜 (中芝)
橋詰 あお (丸山)
平田 創大 (明治町)
藤原 昊斗 (根尾)
宮下 青葉 (天王)
森山 遥輝 (天王)
山口 葉那 (坊平)
吉野 友寧 (野口)
宮川じょう (筑北村)

(敬称略・五十音順・転出された方は転出前の地区名・筑北村に住所があり筑北中学校に在学していた方は「筑北村」と記載)

二十歳を迎えた皆さんをお祝いする「二十歳の集い」を八月十五日に地域交流センターで開催しました。今年度から筑北村坂井の方々、原則、聖南中学校へ入学したことから麻績村の単独開催となりました。対象者は、平成十七年四月二日から平成十八年四月一日までに生まれた十八人で、十五人が出席されました。

式典では、塚原村長から祝辞があり、続いて平野麻績駐在所長と村保健師から講話がありました。それらに対して、二十歳代表として藤原昊斗さんによる答辞は、まず筑北中学校卒業式答辞を読み上げ、場を和ませつつ、今後は社会人の一員として努力していくと語っていました。



▲藤原昊斗さんによる答辞



▲カメラに向かってピース！

祝賀会では三人の恩師の先生からひと言があり、まず麻績小学校で担任をされていた塚口善春先生からは、ご自身の経験から健康や地域のつながりの大切さについて、続いて同学校の塩原いずみ先生からは、当時みんなで作成した草木染の披露と思い出を、最後に筑北中学校で担任をされていた峯村学先生からは、新型コロナウイルス感染症によって、それまでの筑北祭を変えて、一から創り上げる必要がある、「おみほん」のお披露目やドローンを使った撮影など新しい試みを実施し、成功させた思い出を語っていただきました。

二十歳の集いアンケート結果（抜粋）

- * 回答者 15人
- * 現在の住所 村内7人 村外で県内3人 県外5人
- * 職種 学生6人 会社員・公務員6人 その他3人
- * 今回の二十歳の集いはどうでしたか？
良かった14人 普通0人 つまらない0人 未回答1人
- * 麻績村が好き (好きな理由) 好き15人 嫌い0人 わからない0人
親がいるから/ありがとう/静かだから/
自分が生まれ育った場所だから/みんな優しいから/
ふるさとも感じられるから/そこの空気を吸ったから
- * 将来、麻績村に住みたいですか？
住みたい6人 住みたくない0人 わからない9人
(住みたい理由) 長野県が好きだから/育った場所でみんなと暮らしたい
(わからない理由) 仕事をしたい/長野県には住もうと思っている
- * 麻績村に必要なものは？(複数回答)
職場7人/娯楽施設2人(パチンコ)/誇れる特産物4人/
病院3人/便利な交通機関1人/若者2人/子ども1人
- * もし、自分が村長だったら何をしたいですか？
子どもたちが学びやすく住みやすい環境づくり/
子育て支援の増強/子どもを大切に/あいさつ/道路整備/
大きくしたい/今までどおり平和な村にしたい/
暗い道を明るくしてバスを増やす
- * あなたが考える「大人」とは、どういう人でしょうか？
常に学び続けることができる人/
あいさつができる人/自己管理ができる人/楽しいことができる人/
自分の機嫌を自分でとれる人/良いこと悪いことを判断できる人/
一人で暮らせる人/自立できる人/目的を持って進める人
- * その他何でも
とても暑い日ですがみんな元気です、ありがとうございました！/
みんな元気で立派になりましたが、変わらず声をかけてくれて、
とてもうれしかったです。

二十歳の皆さんの考えを知るため、アンケートをとってみました。結果（抜粋）は、左記のとおりです。麻績村については、生まれ育った場所という事から好意的な内容が多いのですが、「将来麻績村に住みたいか」という問いとなると、長野県には住みたいけれども、仕事の面などから「わからない」という回答が多

かったです。また「自分が村長だったら」という問いには、子育て支援や子どもが学びやすい環境づくりというように、子育てに関するものが多く、今後の自分たちのこともあり関心が高いようでした。学生、就職されている方と、人生はさまざまですが、二十歳を迎えた皆さんのご活躍を心より願っています。



▲懐かしい草木染を披露



毎日が暑すぎる。日本中が未曾有の猛暑に見舞われている。八月五日には群馬県伊勢崎市で四一・八℃を記録し、国内史上最高を更新した。昨年の記録を上回り、八月の平均気温は平年比プラス二℃超の見込みだ。熱中症による搬送者数は過去最多の九万人を超え、救急体制もひっ迫している。さらに、深刻な雨不足が追い打ちをかけ、農作物の不作や水資源の枯渇も懸念される。村の特産品でもあるリンゴや米の栽培にも影響が出ているとの声も聞く。米や野菜の価格高騰で食卓への影響が広がり、秋からの新米の値段も過去最高値になりそうだ。一方で、冷房需要の急増により電力供給もひっ迫し、エネルギー問題が浮き彫りに。今年からエアコンを導入した家庭も多いのでは？

もはや「夏の暑さ」は過去の常識では測れない。この気候の変化に、私たちはどう向き合っていけばいいのだろうか？

元気通信!!

今月の小・中学校

麻績小学校

近年、麻績小学校では、学校給食に「もち麦」を導入しています。「なぜ『もち麦』なのか?」といいますと、現代の食生活では、子どものところからの生活習慣病予防が重要な課題となっており、学校給食では、「塩分・脂質の抑制」と共に「食物繊維の摂取」が求められています。この食物繊維が「もち麦入りのごはん」にすることで、通



▲もち麦のすばらしさを語る



▲大勢の方がPTA学習会・学校保健委員会に参加されました

常の白米の三倍も摂取することができ、食物繊維摂取量が「もち麦」を使用していなかった年度との比較では四・九gから五・六gと〇・七g増加することができています。また、児童の健やかな発育と健康づくりを支援するため、地元産食材の活用で地域の農業とつながる（地産地消）を実現することができるといふことで、麻績小学校では、令和六年五月より「もち麦」の提供を開始しています。

今回、七月の土曜参観日を利用して「毎日お腹からのお便り届いていますか?」おみのもち麦と子どもの健康」というテーマで、信州大学医学部保健学科 特任准教授の日高先生と、OMIMO合同会社代表社員の日高保田様より講演をしていただきました。日高先生からは、「医学では『便』と呼ぶ、『お便り』が来るということは、腸（おなか）が元気であり、有害なものを体の外へ出してくれている証拠です。」と食物繊維の働きを分かりやすくお話いただきました。

OMIMO合同会社の久保田様からは、最新の農業様式で麻績の遊休農地（耕作放棄地）を活用し「もち麦」を栽培している様子を動画や、AIを駆使した音声で説明していただきました。

麻績村で栽培されているもち麦「ホワイトファイバー」は、長野県が開発したオリジナル品種であり、水溶性食物繊維・ビタミン・ミネラルが豊富、栄養価が

高く、スーパーフードとして注目され、栽培期間中、化学肥料、農薬不使用、「信州の環境にやさしい農産物」にも認定されているそうです。栄養教諭からも、「子どもたちの腸内環境改善への取り組み『もち麦』を取り入れた給食の提供」として、給食メニューの紹介と、もち麦ご飯の「おにぎり」を保護者の方に試食をしていただきました。今回の講演会をきっかけに、家庭でも食物繊維を積極的に取り入れてほしいと願っております。

筑北中学校

高山先生の合唱指導

一年 丸山湊愛杏
合唱の外部講師である高山先生による合唱指導がありました。私はピアノを少しだけ習っていましたが、強弱記号とかそこまで詳しく教えてもらう前にピアノをやめてしまったのでフォルテとピアノぐらいしかわかりませんでした。高山先生に指導していただいて強弱記号のことや、「こう歌

うといいかな」や、「ここを意識して」など細かいことが理解できました。短時間で子音の発音がはっきりしてくるなど、みんなの歌い方が変化していて、すごいなと思いました。おみっこミュージックフェスティバルでは高山先生に指導してもらったことを生かして歌いたいです。



▲強弱や発音に気をつけて

最後の大会を終えて

三年 薄田 庵

私たち吹奏楽部は生坂中学校と聖南中学校と合同バンドを組み、七月二十一日にキッセイ文化ホールで行われた長野県吹奏楽コンク



▲笑顔で精一杯がんばりました

ール中信地区大会に出場しました。私たち三年生にとっては、最後の大会でした。四月から平日は各校で練習を、週末は合同練習をしてきました。合同練習では、なかなかメンバーが全員揃うことができず、その中でお互いを補い合いながら練習してきました。結果は銀賞で県大会に出場することはできませんでしたが、今まで一番息の揃った演奏ができ、皆が笑顔で終わることができました。後悔の残らない演奏ができて良かったです。



▲会場を盛り上げた松本文化会館付属管楽アンサンブル

令和七年度神明宮祇園祭が七月二十七日に執り行われました。舞台では、フラダンスや松本文化会館付属管楽アンサンブルなどの団体が参加し、会場を盛り上げていました。また本殿及び拝殿、神楽殿では、神事である浦安の舞を舞姫二人が、扇と鈴を使って奉納し、皆で平和と幸せを願いました。

麻績神明宮祇園祭



▲めったに乗車できない車両を体験

麻績小学校による金管バンド、明治町の聖太鼓、昨年度と比べて大幅に部員が増えた筑北中学校吹奏楽部が催されました。

サマーナイトフェスティバル

第三十六回サマーナイトフェスティバルが八月二日に麻績村役場前駐車場で開催されました。



▲みごとな浦安の舞

第六十一回聖高原納涼煙火大会が、八月十四日に聖高原で開催されました。今年度は大会を盛り上げるため、村消防団ラッパ班による演奏が行われ、会場のお客さんから大きな拍手

聖高原納涼煙火大会



▲多くの方が来場されました

やダンスパフォーマンスなど子どもたちが大活躍でした。またミニ防災フェアでは特別車両の見学、長野県警の白バイとパトカーが来て、訪れた方々は車両に乗った姿を写真に写していました。



▲大輪の華

※誌面の関係で今月号に掲載できなかった記事は、九月号に掲載します。

を受けていました。また大会は、五十番までプログラムが組まれていましたが、少し風が吹いていて霧や雲が少なく、夜空を彩る大輪の花火が打ちあがるたびに歓声があがっていました。



▲麻績村消防団ラッパ班による演奏

麻績の神社と 薙鎌信仰について

(その九)

「明けの海」にあればなし

(続き)

○北極熊(白熊)も食料不足泳ぎが巧みだが、氷上の休憩場所が少なく、溺れそうだという。

アザラシや魚が主食だという。明けの海で氷が溶け、主食のアザラシの捕獲が困難となり、「米不足」ならぬ食料不足だという。

○海面上昇で国が 存続の危機

オーストラリアの北北東赤道近くの九つの島からなる国「ツバル」、平均海拔二メートル、最高でも五メートルだという。推定人口は、九六〇〇人。

温暖化による海水上昇で国が水没する恐れがあると報じられたオーストラリアへの特別移住が始まっているという。

○氷河が溶ける

スイス南部のブラッテン(マッターホルンの北)では、温暖化で溶けた氷河が崩落し、九〇〇万㎡の土砂

が麓の村を襲ったという。

ロシア南部・北オセチア共和国の世界一寒い村で平成十四(二〇〇二)年、氷河が溶けて流出し、一〇〇人以上の犠牲者がでたという。

日本でも、氷河を形成している山がある。要注意だ！

○世界中が暑い
フランスでは、パリ郊外十五の県で、七月一日・四十一度。

スペインでは、六月二十八日・四十六度。

トルコ・イタリアでは、高温で山火事が発生。

イギリスでは、ウインブルドンテニスの大会会場が三十一・四度に達したという。

日本では、連日四十度以上観測し、熱中症警戒アラートが発表されている。

○高温になれば食糧品高騰

日本では、食糧品の価格上昇が連日、報じられている。

昨年八月猛暑が続く、秋から米価が高騰した。

世界各地でも、高温を中心とした異常気象の影響で

食糧品の高騰がみられるという。

今年の米の作柄が心配だ。

ばんばの池の麻績渡り

(一)猿ヶ馬場峠について

名称の由来についての史料は欠くが、「猿」と「馬」の組み合わせが奇妙である。広辞苑には、「ばんば(馬場)―乗馬の練習や競馬をする平地。うまば。姓氏の一つ。」とある。

馬は古代の埴輪にも見られ、乗用・軍馬・荷物の運搬・農耕・競馬・祭り・食料等として重要な動物であった。

麻績の牧場伝承には、真米牧よせ・番場(馬場)の峰・天ノ原等がある。このうち最も有力説は、真米(馬籠)だといわれている。

猿ヶ馬場峠は真米に近く、水と草が豊富で、古代馬の牧場であったことがうかがわれる。

猿ヶ馬場峠が正式な道として使用されたのは、江戸時代の初めである。

峠の歴史伝承には天正十(一五八二)年の織田信長の臣森長可・天正十二(一

五八四)年の小笠原貞慶がある。

いずれも「猿ヶ峠」と記されている。

「かくれくぼ」「頭無」などの戦さにかかわる地名もある。

伝説には、六地藏、赤牛に乗った和尚さん、よしが平のパンパン狐、頭無しが村誌下巻にある。

(二)「ばんばの池」について

○聖湖名について

先人の記録から
日本全国を歩いて測量し、地図を完成した伊能忠敬は文化十一(一八一四)年四月二十八日、麻績村を通過した。

測量日記によれば:「猿ヶ馬場峠此所に湖あり、周五百五十七間という。茶屋一軒、名物柏餅:」とある。

池の名称は記されていない。嘉永二(一八四九)年に刊行された豊田利忠の「善光寺路名所図会」には、

「頂【とうげ】にみず茶舗【や】あり、また右に夜ヶ池東西二丁ばかり、南北四丁半程水湛えて浸々たり。

この嶺【とうげ】は木もななく、笹原にて平山なり」と

現在の聖湖及び峠の様子がそれぞれに記されている。

絵図「猿ヶ馬場下り坂燧石【ひうちいし】」より眺望十勝の撰あり(豊田利忠・画)の左上に猿ヶ馬場峠と夜ヶ池の一部が描かれている。

江戸時代後期には「夜ヶ池」であった。

村誌上巻「各村のため池」に頂に「夜が池ともいう」と記述がある。一夜で池ができたからだという。

○聖山高原県立公園の指定
麻績村ほか七市町村(旧町村)に関係する聖山周辺二一五〇ヘクタールが、昭和四十(一九六五)年七月八日、名称「聖山高原県立公園」に指定された。

○「ばんばの池」から 「聖湖」に

昭和三十八(一九六三)年当時「ばんばの池」と呼ばれていたが、名称を公募し、昭和三十九(一九六四)年一月、村議会で「聖湖」に決まり、十月「聖湖」と改名された。

次号に続く
「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



「筑北中学校」選書会

読書旬間に合わせて、選書会が行われました。

読書への関心を高める一助とするため、学習委員会が主催し今年度初めて計画されました。おみ図書館からも職員が伺い、その活動のお手伝いをさせていただきました。

松本市の「ちいさいおうち書店」の越高一夫さんによるブックトークも行われました。そこでは、六月十日の《時の記念日》に合わせて、時間にまつわる本の紹介をしていただきました。

「本はタイトルを見ただけではわからない、本を読む前と後の自分は違う、そんな読書を積み重ねることが自分の根を作ることに繋がる」というお話をされていました。

また、読書に向かう姿勢としては「まず読むことか



▲「トムは真夜中の庭で」や「時をかけるタック」を紹介

ら始めてみよう。そして多くのことを知り、考える、そして調べる。自分の中の世界を広げる。そのことで、他者を理解する力も育まれる」と、読書時間の大切さなどもお話くださいました。その後の選書会では、越高さんの紹介してくださった本も含め、会場いっぱいになんだ本の中から、生徒たちが興味のある本に付箋を貼り、図書室に置く本を自分たちで選びました。実際に本を手にとつて開き、自分の感性と対話して、新しい本と新しい自分との



▲即決の子もいれば、じっくりと選ぶ姿も

出会いの予感を感じる、そんな素敵な時間になりました。

麻績小学校図書館便り

小学校でもやりました。選書会！

今までも児童のリクエストカードを置き、入れて欲しい本の希望を受け付けていましたが、どんな本が出版されているのか情報が少ない中では、自分がこの本を読みたい！と希望する子は限られていました。

そこで、今回は小学校も「ちいさいおうち書店」にお願いし、三年生以上の児童におすすめの本を紹介していただきました。

三・四年生には、科学に興味を持てるような本「うかぶかな？しずむかな？」「やさしいのはな なんのは



▲大根と人参の花の違い、わかるかな？

な？」をクイズ形式でお話しくださると、児童は前のめりになって聴き入っていました。

五・六年生には、言葉遊びの楽しい本「おっと合点承知之助」をみんなで暗唱して和んだ後に、戦争についてのブックトークをしていただきました。

その後、お待ちかねの一人一冊本選びです。本を傷めないように優しく扱いながら、じっくりと選ぶ姿が見られました。選んだ本は随時図書館に並べています。



▲どの本にしようかな？

どんどん読みましょう。

【越高さんお薦めの本】

「ミハイルのハーモニカ」南樺太で楽しく過ごしていた子どもたちとロシア人ミハイル。しかし、戦争によって離ればなれになってしまいます。戦後、サハリンを訪れますが…。



高橋良子 文
文研出版

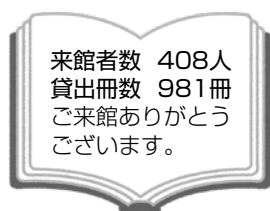
「子どもも兵士になった沖縄・三中学徒隊の戦世」



真鍋和子 著
童心社

戦争に巻き込まれ無念の死を遂げた中学生。彼らの命の意味とは。

8月の図書館



来館者数 408人
貸出冊数 981冊
ご来館ありがとうございます。



麻績村文化祭 参加者募集

文化祭を十一月一日(土)と二日(日)に地域交流センターで開催します。

芸能発表会(一日の午後)と作品展示にご協力いただける方を募集します。詳細につきましては、麻績村公民館(☎六七・二二四〇)までご連絡ください。

分館・団体別リレー 参加チーム募集

村民運動会を十月十九日(日)に村総合運動場で開催します。

分館・団体別リレーに出場していただけるチームを募集します。障害物競走を

しながら、ユニークな服装で盛り上げていただけます。方々をお待ちしています。麻績村にお住まい、または勤務されている方で五人一組のチーム(分館での出場でも構いません)を組んで、麻績村公民館(☎六七・二二四〇)までご連絡ください。

心配事相談所 行政相談所 合同開催いたします

心配事相談所と行政相談所を次の時間と場所で開催します。

心配事相談は、日常生活でのお悩みやお困りごとを無料で相談できる事業で、麻績村では年四回定期相談会を開催しています。

行政相談は、国や地方公共団体の仕事やサービスに関する意見や要望、苦情を受け付け、解決をサポートする仕組みで、不定期で相談所を開設しています。

当日はいずれの相談も無料、秘密は固く守られますので、お気軽にご利用ください。

日時

九月十八日(木)

午前十時から正午まで

場所

村役場二階会議室

お問い合わせ先

村社会福祉協議会

心配事相談事務局

(☎六七・三〇九九)

村役場総務課

行政相談事務局

(☎六七・四八五〇)

公民館行事の予定

○村民ゴルフ大会

日時…十月五日(日)

場所…南長野ゴルフ場

備考…参加を希望される方は、九月二十五日(木)までに公民館へお申込みください。

○村民運動会

日時…十月十九日(日)

場所…総合運動場

備考…詳細は、地区の分館長・分館主事の方を通じてご連絡します。

○第五回麻績学級

日時…十月二十四日(金)

午後二時から

場所…地域交流センター

内容…映画観賞

「お終活 熟春!人生、百年時代の過ごし方」

安筑青年野球大会

二十八大会ぶり

王座奪還

安筑青年野球大会が八月十五日に池田町で開催され、村体協野球部『麻績ANGELS』が二日間の激闘を制して二十八大会ぶりに優勝し、第一〇〇回大会の節目を飾りました。

決勝戦では前年度優勝チームを相手に三先制し、終盤に二点返されるも逆転を許さず勝利しました。

安筑青年野球大会は一世紀以上続く歴史ある大会で、優秀な成績を収められました。体協野球部の皆さん、優勝おめでとうございます。試合結果は、次のとおりです。

一回戦【四対〇】

対 The MORNING(安曇野市)

二回戦【二対一】

対 みやび設備(安曇野市)

準決勝【七対一】

対 Blue Fish(安曇野市)

決勝【三対二】

対 獅子丸(安曇野市)



▲地域交流センターで令和7年9月末まで優勝旗やトロフィーなどを展示しています



ご冥福を祈る

飯森 絢子 85歳 下井堀